

主催：公益社団法人 全国経理教育協会

コンピュータ会計能力検定試験

2 級

練習問題

この練習問題及び標準解答・採点箇所は、公益社団法人 全国経理教育協会が実施する「コンピュータ会計能力検定試験 2級」の出題傾向を分析し、習熟度確認のために本書の編集者が作成したものです。

当然にして出題内容や傾向、そして解答用紙等の形式を予想(限定)するものではないことを申し添えます。

検定試験の詳しい内容等については、検定主催団体にお問い合わせください。

注 意

- ・ この練習試験問題は、全部で15ページです。
 - ・ この練習試験の制限時間は1時間30分です。
 - ・ 解答は、問題の指示に従い、すべて解答用紙の指定の位置に記入してください。
 - ・ 第2問は、「オステリア電子販売株式会社問題(4期)」の学習用データを、第3問は「横手産業株式会社問題(4期)」の学習用データを復元して処理を行ってください。
(P250の「学習の準備」でダウンロードした学習用データに含まれています)
 - ・ 会計ソフト以外のソフトウェア(表計算等)や電卓などの使用も認めます。
- ※P230, 231に解答用紙が付属しています。ご使用ください。

コンピュータ会計の知識

第1問 次の各文章において【 】に入るべき数字・語句を(1)～(5)の解答欄に記入しなさい。(10点)

- (1) 製造業K社の製造原価報告書に表示された当期総製造費用は700,000円、期首仕掛品原価は200,000円、期末仕掛品原価は300,000円であった。K社の期首製品在庫は無く、当期完成した製品のうち当期に販売された製品の売上高は1,500,000円で当期に販売されなかった期末製品在庫は100,000円であった。またK社の棚卸資産は原材料、仕掛品、製品以外に無い。期末に損益計算書を出力すると、売上原価項目に関連して金額が600,000円となる項目は【 】である。
- (2) 一般的な会計ソフトの特徴の一つとして、データベース管理システムの【 】機能によって、コンピュータ画面に出力された総勘定元帳(任意の勘定科目の元帳)のどれか1行をダブルクリックし、その取引の入力源泉となった振替伝票を出力することができる。
- (3) 日々の業務取引を基幹業務システムで入力し、月末や年度末などの一定時点に期中の取引データを一括して財務会計システムに引き渡すような、基幹業務システムと財務会計システムとを連携するコンピュータ会計システムでは、買掛金の明細情報(例えば、仕入先・商品明細を伴う買掛金残高情報や支払履歴情報)は【 】管理システムから得られるのが一般的である。
- (4) 基幹業務システムと財務会計システムとを連携できる市販会計ソフトの中には、基幹業務の明細取引データを基幹業務システム側で【 】仕訳して、テキストファイル形式等で財務会計システムに転送できるものがある。
- (5) わが国の企業では、会計取引を振替伝票画面や現金出納帳画面などから入力し、総勘定元帳や貸借対照表・損益計算書・製造原価報告書(明細書)などの会計帳簿を出力することを主目的とする情報システムを一般会計システムと呼ぶことがあるが、これは上記(3)にある【 】システムのことである。

会 計 処 理

第2問 オステリア電子販売株式会社の会計データを入力し、年次決算をおこなって、解答用紙に示した貸借対照表と損益計算書の各科目の金額を求めなさい。(50点)

オステリア電子販売株式会社は、20××年9月から会計ソフトによる処理を導入している。期首(10月1日)から導入する前月(8月)までの会計データ、および9月25日より前までの9月分の会計データは、入力処理済みである。

9月25日以降の会計データと決算資料(223ページから225ページ)にもとづいて、必要な会計処理をおこないなさい。

＜付記事項＞

- (1) 会計期間は毎年10月1日から翌年9月30日までである。
- (2) 事業内容は、電子機器部品の卸売業である。
- (3) 取引先および取引条件等は次の表のとおりである。

得意先	あか工業(株)	しろ工業(株)	くろ工業(株)
売上計上日	検収書受領日	検収書受領日	検収書受領日
回収条件	月末締め・翌月末払い	月末締め・翌々月10日払い	月末締め・翌々月20日払い
回収方法	銀行振込	銀行振込	銀行振込

仕入先	ロッソ電子(株)	ビアンコ電子(株)	ネーロ電子(株)
仕入計上日	納入検収日	納入検収日	納入検収日
支払条件	月末締め・翌々月25日払い	月末締め・翌々月25日払い	月末締め・翌々月25日払い
支払方法	銀行振込	銀行振込	銀行振込

- (4) 入力にあたっては、入力済みのデータも参照すること。
- (5) 勘定科目および補助科目の新規設定はおこなわないこと。

この問題は、「オステリア電子販売株式会社問題(4期)」を復元して処理をおこなってください。
(P250の「学習の準備」でダウンロードした学習用データに含まれています)

〔会計データ〕

9月25日（水）

① 本日の商品売買状況

納 品 書		令和○年 9月25日				
オステリア電子販売株式会社 御中		110-0000 東京都千代田区〇〇町 ×××				
		ネーロ電子株式会社				
毎度お引き立て頂きまして有難うございます。						
商品コード／商品名	数量	単位	単価	金額	備考	
Z-50	1,200			2,640,000		
	税抜額	2,640,000円	消費税額	264,000円	合 計	2,904,000円

② 普通預金の引き出し

普通預金 2,260,000円を引き出した。

③ 9月分給与支払（現金払い）

給与等集計表	
役 員 報 酬	1,000,000 円
給 料 手 当	1,800,000 円
合 計 支 給 額	2,800,000 円
社 会 保 険 料	356,400 円
源 泉 所 得 税	89,800 円
住 民 税	190,800 円
控 除 額 合 計	637,000 円
差 引 総 支 給 額	2,163,000 円

④ 通勤交通費126,500円を現金で支払った。

9月26日（木）

① 振込依頼書作成

<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> カラー銀行 殿 総合振込依頼書 </div>								
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <small>フリガナ</small> オステリアデンシハンバイカブシキガイシャ オステリア電子販売株式会社 様 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <small>振込指定日</small> 令和〇年9月30日 </div> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 5px;">枚数/枚目 1/1</div>								
送信番号	振込先 銀行	支店	口座番号	お受取人	金額	電信指定	手数料円	照査印発行印
	カラー銀行	本店	0123456	レッド産業 (株)	27,500		550	
	カラー銀行	本店	0121212	オレンジ興業 (株)	77,000		770	
	ブルー銀行	中央	0765432	パープル不動産 (株)	220,000		770	
	ブルー銀行	中央	0334455	ブラック運送 (株)	825,000		770	
					小計	4 件	1,149,500	小計 2,860
					合計	4	1,149,500	合計 2,860

(注)レッド産業(株)は駐車場使用料, オレンジ興業(株)は倉庫家賃, パープル不動産(株)は事務所家賃, ブラック運送(株)は運送費の支払先である。

② 得意先から届いた振込通知書

20XX年 9 月 24 日	
振込通知書	
<u>オステリア電子販売株式会社 様</u>	
あか工業株式会社	
締切日 20XX年 8 月 31 日 購入金額合計 ○件 2,200,000 円 (8 月 1 日～8 月 31 日) <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">(振込日 : 20XX年 9 月 30 日)</div>	

9月27日 (金)

① 本日の商品売買状況

売上伝票

納品書(控)

売上日 20XX年 9月27日

200-0000 神奈川県△△市〇〇町 1-1-1
オステリア電子販売株式会社

しろ工業株式会社

御中

商品コード／商品名		数量	単位	単価	金額	備考
W－20		500			1,200,000	
X－30		600			1,380,000	
Z－50		800			2,880,000	
	税抜額	5,460,000円	消費税額	546,000円	合計	6,006,000円

② 借入金の明細

お借入金ご返済予定表						カラー銀行	
ご 融 資 日		最 終 期 日		ご返済回数	ご 融 資 額	うち増額返済分ご融資額	
年月**日		**年**月**日		** 回	*****円	F	
ご返済期日 (年 月 日)	回数	ご 返 済 内 訳			ご返済後融資残高 (うち増額分ご融資残高)	未払利息発生額	未払利息残高
	回	ご返済元金 円	お支払利息 円	未 払 利 息 円	円	円	F
(一 部 省 略)							
○.8.28	10	140,000	18,552		4,920,000		
○.9.27	11	140,000	17,815		4,780,000		
○.10.28	12	140,000	17,076		4,640,000		

9月28日（土） 29日（日）

休業

9月30日（月）

① 本日の商品売買状況

				売 上 伝 票		納品書(控)	
くろ工業株式会社				御中		売上日 20××年 9月30日	
				200-0000 神奈川県△△市〇〇町 1-1-1		オステリア電子販売株式会社	
商品コード／商品名	数量	単位	単価	金額	備考		
X-30	700			1,800,000			
Y-40	500			2,080,000			
	税抜額	3,880,000円	消費税額	388,000円	合 計	4,268,000円	

② 普通預金の引き出し

普通預金706,800円を引き出した。

③ 社会保険料納付(現金払い)

納入告知書 納付書 ・領収証書		国庫金	厚生保険
		合 計 額	
		706,800 円	
〇〇年金事務所長	東京都豊島区北大塚1-13-12 オステリア電子販売株式会社 殿		

(注)・25日の給与支払時に353,400円を預かっている。

・納付額との差額は会社負担分である。

④ 社会保険料の費用計上

当月分の社会保険料負担分355,600円を費用処理し、未払金勘定(補助科目:社会保険料)に計上する。

⑤ 小口現金の補充

小口現金補充のため、普通預金189,500円を引き出した。
租税公課を除いて、すべて消費税10%が適用される取引でした。

小口現金出納帳集計表	
20××年 9月21日～30日	
科 目	税 込 金 額
福 利 厚 生 費	6,600 円
広 告 宣 伝 費	38,500 円
交 際 費	9,350 円
旅 費 交 通 費	19,800 円
通 信 費	23,100 円
消 耗 品 費	13,200 円
事 務 用 品 費	17,600 円
修 繕 費	8,800 円
車 両 費	44,000 円
租 税 公 課	300 円
雑 費	8,250 円
合 計	189,500 円

20××年 9月30日
出納係 印

⑥ 精算

9月19日に従業員に対して交通費の概算を手渡していたが、本日精算をおこない、残金5,750円を現金で受け取った。
なお、精算した金額には、交通費(税込)以外に消耗品費1,100円と切手代840円が含まれており、領収証を受け取った。

⑦ 普通預金通帳の記帳結果

普通預金					
	年-月-日	摘要	お 支 払 金 額	お 預 り 金 額	差 引 残 高
1	○.9.25	お引き出し	2,260,000		9,731,316
2	○.9.27	日本政策金融公庫	157,815		9,573,501
3	○.9.27	電気	38,500		9,535,001
4	○.9.27	電気	34,100		9,500,901
5	○.9.27	水道	11,000		9,489,901
6	○.9.27	水道	9,900		9,480,001
7	○.9.27	携帯電話	40,700		9,439,301
8	○.9.27	携帯電話	41,800		9,397,501
9	○.9.28	ホワイトリース	34,320		9,363,181
10	○.9.28	イエローリース	36,575		9,326,606
11	○.9.28	ブラウン損害保険	74,000		9,252,606
12	○.9.30	あか工業(株)		2,200,000	11,452,606
13	○.9.30	レッド産業	27,500		11,425,106
14	○.9.30	振込手数料	550		11,424,556
15	○.9.30	オレンジ興業	77,000		11,347,556
16	○.9.30	振込手数料	770		11,346,786
17	○.9.30	パープル不動産	220,000		11,126,786
18	○.9.30	振込手数料	770		11,126,016
19	○.9.30	ブラック運送	825,000		10,301,016
20	○.9.30	振込手数料	770		10,300,246
21	○.9.30	お引き出し	706,800		9,593,446
22	○.9.30	お引き出し	189,500		9,403,946

(注) ○. 9.27 振替 157,815円は日本政策金融公庫への返済である。

○. 9.28 振替 34,320円はホワイトリースへの支払であり、「リース料」勘定を使用する。

○. 9.28 振替 36,575円はイエローリースへの支払であり、「リース料」勘定を使用する。

○. 9.28 振替 74,000円はブラウン損害保険への支払であり、「保険料」勘定を使用する。

○. 9.30 振込 2,200,000円は あか工業株式会社からの振込である。

〔決算資料〕

(1) 残 高

① 現 金

手許現金残高	×××××円
--------	--------

② 預 金

残 高 証 明 書	
オステリア電子販売株式会社 様	
令和○年 9月30日	
預金種類	残高
普 通 預 金	9,403,946 円
定 期 預 金	2,844,762 円
定 期 積 立	5,060,596 円
令和○年 10月 6日	
カラー銀行 豊島支店	

③ 売掛金

得意先への確認済み残高

20××年 9月30日

あ か 工 業 株 式 会 社	×××××円
し ろ 工 業 株 式 会 社	×××××円
く ろ 工 業 株 式 会 社	16,456,000 円
合 計	×××××円

④ 買掛金

仕入先への確認済み残高

20××年 9月30日

ロ ッ ソ 電 子 株 式 会 社	×××××円
ビ アン コ 電 子 株 式 会 社	×××××円
ネ ー ロ 電 子 株 式 会 社	8,844,000 円
合 計	×××××円

⑤ 預り金

源泉所得税	89,800円
住民税	190,800円
社会保険料	6,000円

⑥ 長期借入金

219ページ借入金返済予定表参照

(2) 棚卸処理

商品棚卸表

20××年9月30日

種類	仕入単価	帳簿棚卸数量	実地棚卸数量	実地棚卸金額
V-10	1,600円	500	500	800,000円
W-20	1,500円	300	300	450,000円
X-30	1,400円	200	200	280,000円
Y-40	1,700円	500	490	×××××円
Z-50	2,200円	600	600	×××××円
合計				××××××円

上記の棚卸表のとおり、実地棚卸の結果、Y-40が帳簿棚卸に対して10個不足していることが判明した。この不足分については、棚卸減耗として売上原価に含めることとする。

(3) 減価償却

次の固定資産台帳・減価償却明細表のデータにもとづいて、当期の減価償却費を計上する。

固定資産台帳・減価償却明細表

第4期：10月1日～9月30日

(金額単位：円)

種類	取得年月日	取得価額	償却方法	耐用年数	償却率	当期償却額
(車両運搬具)						
乗用車	20×△年1月	3,000,000	定率法	6	0.319	617,067
乗用車	20×□年2月	2,000,000	定率法	6	0.319	621,040
計		5,000,000				××××××
(備品)						
エアコン	20×△年2月	300,000	定率法	6	0.319	37,273
応接セット	20×△年2月	300,000	定率法	8	0.250	32,812
計		600,000				×××××
合計		5,600,000				××××××

(4) その他

① 運送費

運送費は10日締めで月末払いとしており、締め日以降（9月11日から30日まで）に発生した運送費について、「未払費用」勘定を利用して費用計上する。

9月11日～30日分の運送料計算書の合計額	418,000円（税込金額）
-----------------------	----------------

② 地代家賃

「地代家賃」勘定の補助元帳には、1か月分の前払分が含まれているため、それぞれ13か月分の家賃が計上されている。前払い分を「前払費用」勘定に振替処理する。

事 務 所	220,000円(税込金額)
倉 庫	77,000円(税込金額)
駐 車 場	27,500円(税込金額)

③ 消費税等の計上

当期の確定消費税の金額は次のとおりである。

当期確定消費税額等	5,027,700円
-----------	------------

今年5月に支払った消費税の中間納付額との差額を「未払消費税等」勘定に計上する。消費税の中間納付額は、「仮払消費税等」勘定の借方に計上されている。

なお、「仮受消費税等」勘定と「仮払消費税等」勘定との振り替えにより生じる端数差額は、雑収入とする。この雑収入は、消費税課税対象外として処理する。

④ 法人税等の計上

当期の法人税，法人住民税，法人事業税，地方法人特別税が次の金額に確定した。

	確定法人税額等
法 人 税	509,100円
法 人 住 民 税	135,600円
法 人 事 業 税・特 別 税	165,100円
合 計	809,800円

今年5月に支払った法人税，法人住民税，法人事業税，地方法人特別税の中間納付額との差額を「未払法人税等」勘定に計上する。

なお，中間申告による納付額合計は、「仮払法人税等」勘定の借方に計上されている。

会計情報の活用

第3問 次の各文章において、【 】に入るべき数字・字句、または【 】内の「ア」と「イ」のうち正しいものの記号を、(1)～(10)の解答欄に記入しなさい。横手産業株式会社に関する問題は、会計ソフトに組み込まれた機能を実行してえられた数値にもとづき解答すること。ただし、そのうち会計ソフトの機能から解答を直接えられない問題については、別途計算したり、判断したりして解答すること。なお、金額以外の数字による解答については、求める表示形式上の小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで記入すること。(「横手産業株式会社問題(4期)」の会計データを復元して処理する。)(20点)

<経営分析>

- (1) 横手産業株式会社の決算を含む第4期末における売上高経常利益率は8月末残高によるものに比べて好転【ア. している。 イ. していない。】
- (2) 横手産業株式会社第4期12月末残高における流動比率は【 】%である。
- (3) 横手産業株式会社の決算を含む第4期末における総資本回転率は【 】回である。
- (4) 横手産業株式会社の売上高を半期に分けて検討する。下半期(4月～9月)の売上高は、上半期(10月～3月)に対して【 】%の売上高減少率である。

<損益分岐点分析>

- (5) 横手産業株式会社は、同社の損益計算書に計上される営業費用の固定分解にあたって、売上原価項目と支払手数料については変動費100%、荷造運賃については固定費60%、旅費交通費については固定費50%、消耗品費については固定費80%、その他の営業費用については固定費100%としている。
また、営業外収益・営業外費用・特別損益を構成する各項目は分析に用いない。決算を含む第4期全体の損益分岐点売上高は【 】円である。
- (6) 横手産業株式会社第4期の第3四半期(4～6月)累計の限界利益は【 】円である。
- (7) 横手産業株式会社は第5期1年間の利益計画を策定する際に、第5期は固定費を第4期から5%増加、変動費を5%減少、利益(営業利益)を7,000,000円とする予測のもとで、この予測を満たす第5期の売上高を試算する。この試算による第5期の限界利益は第4期に比べて【ア. 増加する。 イ. 減少する。】
- (8) 横手産業株式会社の上記(7)試算により、安全余裕率からみた第5期の業績は第4期と比べて【ア. 好転する。 イ. 悪化する。】

<予算管理>

- (9) 卸売業である若柴堂(株)の第8期会計年度予算は、売上高予算額24,600,000円、期首商品棚卸高が1,800,000円、商品仕入高予算額が12,000,000円、期末商品棚卸高予算額が1,500,000円と見積もられた。第8期の予算編成における売上原価率は、【 】%である。
- (10) 上記(9)の若柴堂(株)の第8期会計年度の決算結果は、売上高実績が予算達成率120%で好調な業績を示した。予算編成時の売上原価率を達成できたとすれば、売上総利益の実績は【 】円である。

第4問 A社における7月の資料1の実績貸借対照表および実績損益計算書(228ページ)から、資料2の実績資金繰り表および資料3の資金増減原因表(229ページ)を作成し、下記の問1と問2に答えなさい。
(20点)

＜実績資金繰り表＞

問1 7月の資金繰り表について、次の文章中の【 】内の「ア」と「イ」のうち、正しいものを選び、(1)～(5)の解答欄に記号で記入しなさい。

- ・ 経常収入合計は、【 (1) ア. 13,089,600円 イ. 16,552,000円 】である。
- ・ 経常支出合計は、【 (2) ア. 15,280,000円 イ. 13,148,000円 】である。
- ・ 経常収支過不足は、【 (3) ア. 過剰 イ. 不足 】である。
- ・ 財務収支過不足は、【 (4) ア. 過剰 イ. 不足 】である。
- ・ 収支過不足合計は、【 (5) ア. 21,600円 イ. 458,400円 】過剰である。

＜資金増減原因＞

問2 7月の資金増減原因について、次の文章中の空欄に適切なものを語群から選び、(6)～(10)の解答欄に記号で記入しなさい。

- ・ 資金の増加原因を金額の大きい順に列挙すると、(6) , (7) , (8) があげられる。
- ・ 資金の減少原因を金額の大きい順に列挙すると、(9) , 設備の増加, (10) があげられる。

語 群

ア	利益の発生	イ	損失の発生	ウ	非資金費用	エ	売掛金の増加
オ	売掛金の減少	カ	買掛金の増加	キ	買掛金の減少	ク	設備の減少
ケ	在庫の増加	コ	在庫の減少	サ	借入金の増加	シ	借入金の減少

<資料 1>

< A 社 >

7月の実績貸借対照表

勘定科目	前月繰越	当月借方	当月貸方	当月残高
現 金 ・ 預 金	2,596,800	13,329,600	13,308,000	2,618,400
売 掛 金	6,737,600	16,552,000	13,089,600	10,200,000
商 品	928,000	992,000	928,000	992,000
備 品	2,080,000	160,000	0	2,240,000
減 価 償 却 累 計 額	-312,000	0	104,000	-416,000
資 産 合 計	12,030,400	31,033,600	27,429,600	15,634,400
買 掛 金	5,019,200	7,677,600	9,809,600	7,151,200
短 期 借 入 金	1,680,000	0	240,000	1,920,000
資 本 金	4,000,000	0	0	4,000,000
利 益 剰 余 金	1,331,200	0	1,232,000	2,563,200
負 債 ・ 純 資 産 合 計	12,030,400	7,677,600	11,281,600	15,634,400

< A 社 >

7月の実績損益計算書

勘定科目	前月繰越	当月借方	当月貸方	当月残高
売 上 高	45,808,000	0	16,552,000	62,360,000
売 上 原 価				
期首商品棚卸高	0	0	0	0
当期商品仕入高	29,009,600	9,809,600	0	38,819,200
合 計	29,009,600	9,809,600	0	38,819,200
期末商品棚卸高	928,000	928,000	992,000	992,000
売 上 原 価	28,081,600	10,737,600	992,000	37,827,200
売 上 総 利 益	17,726,400	0	6,806,400	24,532,800
販売費一般管理費				
人 件 費	5,473,600	2,048,000	0	7,521,600
減 価 償 却 費	312,000	104,000	0	416,000
営 業 経 費	10,578,400	3,412,000	0	13,990,400
販売費一般管理費計	16,364,000	5,564,000	0	21,928,000
営 業 利 益	1,362,400	0	1,242,400	2,604,800
営 業 外 費 用				
支 払 利 息	31,200	10,400	0	41,600
経 常 利 益	1,331,200	0	1,232,000	2,563,200
当 期 純 利 益	1,331,200	0	1,232,000	2,563,200

(注)・売上と仕入はすべて掛取引で、値引・返品および現金販売・現金仕入はない。

- ・売掛金の回収・買掛金の支払は、すべて預金口座への振込でおこなっている。
- ・人件費・営業経費・利息の支払は、すべて現金または預金でおこなっている。
- ・備品は、現金で購入している。

<資料 2>

< A 社 > 7月の実績資金繰り表

資金繰り項目		7月
経 常 収 支	現 金 売 上	
	売 掛 金 回 収	
	営 業 外 収 入	
	経 常 収 入 合 計	
	現 金 仕 入	
	買 掛 金 支 払	
	人 件 費 支 払	
	営 業 経 費 支 払	
	営 業 外 費 用	
	経 常 支 出 合 計	
	経 常 収 支 過 不 足	
設 備 等 収 支	設 備 等 売 却 収 入	
	設 備 等 購 入 支 出	
	設 備 等 収 支 過 不 足	
財 務 収 支	借 入 金 借 入	
	借 入 金 返 済	
	財 務 収 支 過 不 足	
収 支 過 不 足 合 計		
月 初 現 預 金 残 高		
月 末 現 預 金 残 高		

<資料 3>

< A 社 > 7月の資金増減原因表

	資金増加	資金減少
損 益 の 状 況		
非 資 金 費 用		
売 掛 金 の 状 況		
買 掛 金 の 状 況		
在 庫 の 状 況		
設 備 等 の 状 況		
借 入 金 の 状 況		
合 計		
資金の増減結果		

コンピュータ会計能力検定試験 練習問題 解答用紙

2 級

試 験 会 場	
氏 名	受 験 番 号
	<div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> </div>

得 点

コンピュータ会計の知識

第1問 (@2点×5=10点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

コンピュータ
会計の知識

--

第2問【会計処理】は、次ページの解答欄に記入すること。

会計情報の活用

第3問 (20点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
	%	回	%	円
(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
円			%	円

第4問 (20点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
(6)	(7)	(8)	(9)	(10)

会計情報の活用

会 計 処 理

第2問 (50点)

オステリア電子販売株式会社

貸借対照表(9月30日)の科目と金額 (単位:円)

	科 目	金 額
(1)	現 金	
(2)	売 掛 金 (あ か 工 業 株 分)	
(3)	資 産 合 計	
(4)	未 払 消 費 税 等	
(5)	繰 越 利 益 剰 余 金 合 計	

オステリア電子販売株式会社

損益計算書(10月1日～9月30日)の科目と金額 (単位:円)

	科 目	金 額
(1)	売 上 総 利 益	
(2)	法 定 福 利 費	
(3)	旅 費 交 通 費	
(4)	雑 収 入	
(5)	当 期 利 益	

会計処理

コンピュータ会計能力検定試験 練習問題 標準解答

2 級

試 験 会 場	
氏 名	受 験 番 号
	<div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> </div>

得 点

コンピュータ会計の知識

第1問 (@2点×5=10点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
当期製品 製造原価	ドリルダウン	購買(仕入)	自動	財務会計

コンピュータ
会計の知識

--

第2問【会計処理】は、次ページの解答欄に記入すること。

会計情報の活用

第3問 (20点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
ア	157.8 %	3.9 回	2.5 %	202,725,787 円
(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
18,639,580 円	ア	イ	50.0 %	14,760,000 円

第4問 (20点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
ア	イ	イ	ア	ア
(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
力	ア	サ	エ	ケ

会計情報の活用

会 計 処 理**第2問** (50点)

オステリア電子販売株式会社

貸借対照表(9月30日)の科目と金額

(単位:円)

	科 目	金 額
(1)	現 金	555,831
(2)	売 掛 金 (あ か 工 業 株 分)	1,760,000
(3)	資 産 合 計	58,246,153
(4)	未 払 消 費 税 等	3,688,700
(5)	繰 越 利 益 剰 余 金 合 計	8,872,353

オステリア電子販売株式会社

損益計算書(10月1日～9月30日)の科目と金額

(単位:円)

	科 目	金 額
(1)	売 上 総 利 益	76,387,000
(2)	法 定 福 利 費	4,535,890
(3)	旅 費 交 通 費	1,434,250
(4)	雑 収 入	119
(5)	当 期 利 益	2,584,331

会計処理

仕訳日記帳

オステリア電子販売株式会社解答

日付 伝票No	借方勘定科目 借方補助科目	借方金額 借方税額 借方税区分	貸方勘定科目 貸方補助科目	貸方金額 貸方税額 貸方税区分	摘要
9/25 17	仕入高	2,640,000 264,000 課対仕入10%外税	買掛金 ネーロ電子(株)	2,904,000	掛仕入 適格
9/25 18	現金	2,260,000	普通預金 カー銀行	2,260,000	引出し
9/25 19	役員報酬	1,000,000	現金	1,000,000	役員報酬
	給料手当	1,800,000	現金	1,800,000	給与手当
	現金	356,400	預り金 社会保険料	356,400	社会保険
	現金	89,800	預り金 源泉所得税	89,800	源泉所得税
	現金	190,800	預り金 住民税	190,800	住民税
9/25 20	旅費交通費	126,500 (11,500) 課対仕入10%内税	現金	126,500	通勤交通費 適格
9/30 21	地代家賃 駐車場	27,500 (2,500) 課対仕入10%内税	普通預金 カー銀行	27,500	駐車場代 26日振込依頼 適格
	地代家賃 倉庫	77,000 (7,000) 課対仕入10%内税	普通預金 カー銀行	77,000	倉庫家賃 26日振込依頼 適格
	地代家賃 事務所	220,000 (20,000) 課対仕入10%内税	普通預金 カー銀行	220,000	事務所家賃 26日振込依頼 適格
	荷造運賃	825,000 (75,000) 課対仕入10%内税	普通預金 カー銀行	825,000	発送運賃 26日振込依頼 適格
	支払手数料	2,860 (260) 課対仕入10%内税	普通預金 カー銀行	2,860	振込手数料 適格
9/27 22	売掛金 しろ工業(株)	6,006,000	売上高	5,460,000 546,000 課税売上10%外税	掛売上高 しろ工業(株)
9/27 23	長期借入金 日本政策金融公庫	140,000	普通預金 カー銀行	140,000	借入金返済
	支払利息	17,815	普通預金 カー銀行	17,815	借入金利息
9/30 24	売掛金 くろ工業(株)	4,268,000	売上高	3,880,000 388,000 課税売上10%外税	掛売上高 くろ工業(株)
9/30 25	現金	706,800	普通預金 カー銀行	706,800	引出し
9/30 26	預り金 社会保険料	353,400	現金	353,400	社会保険料 従業員負担分
	未払金 社会保険料	353,400	現金	353,400	社会保険料 事業主負担分
9/30 27	法定福利費	355,600	未払金 社会保険料	355,600	社会保険料 事業主負担分 9月度
9/30 28	福利厚生費	6,600 (600) 課対仕入10%内税	普通預金 カー銀行	6,600	福利厚生費 適格

仕訳日記帳

オステリア電子販売株式会社解答

日付 伝票No	借方勘定科目 借方補助科目	借方金額 借方税額 借方税区分	貸方勘定科目 貸方補助科目	貸方金額 貸方税額 貸方税区分	摘 要
9/30 28	広告宣伝費	38,500 (3,500) 課対仕入10%内税	普通預金 カ-銀行	38,500	広告宣伝費 適格
	交際費	9,350 (850) 課対仕入10%内税	普通預金 カ-銀行	9,350	交際費 適格
	旅費交通費	19,800 (1,800) 課対仕入10%内税	普通預金 カ-銀行	19,800	交通費 適格
	通信費	23,100 (2,100) 課対仕入10%内税	普通預金 カ-銀行	23,100	通信費 適格
	消耗品費	13,200 (1,200) 課対仕入10%内税	普通預金 カ-銀行	13,200	消耗品費 適格
	事務用品費	17,600 (1,600) 課対仕入10%内税	普通預金 カ-銀行	17,600	事務用品費 適格
	修繕費	8,800 (800) 課対仕入10%内税	普通預金 カ-銀行	8,800	修繕費 適格
	車両費	44,000 (4,000) 課対仕入10%内税	普通預金 カ-銀行	44,000	車両費 適格
	租税公課	300	普通預金 カ-銀行	300	収入印紙
	雑費	8,250 (750) 課対仕入10%内税	普通預金 カ-銀行	8,250	雑費 適格
9/30 29	現金	5,750	仮払金	10,000	仮払精算 9月19日仮払金 ￥10,000
	消耗品費	1,100 (100) 課対仕入10%内税			仮払精算 適格
	通信費	840 (76) 課対仕入10%内税			仮払精算 適格
	旅費交通費	2,310 (210) 課対仕入10%内税			外出交通費 適格
9/27 30	水道光熱費	38,500 (3,500) 課対仕入10%内税	普通預金 カ-銀行	38,500	電気料金 適格
	水道光熱費	34,100 (3,100) 課対仕入10%内税	普通預金 カ-銀行	34,100	電気料金 適格
	水道光熱費	11,000 (1,000) 課対仕入10%内税	普通預金 カ-銀行	11,000	水道料金 適格
	水道光熱費	9,900 (900) 課対仕入10%内税	普通預金 カ-銀行	9,900	水道料金 適格
	通信費	40,700 (3,700) 課対仕入10%内税	普通預金 カ-銀行	40,700	携帯電話代 適格
	通信費	41,800 (3,800) 課対仕入10%内税	普通預金 カ-銀行	41,800	携帯電話代 適格
9/28 31	リース料	34,320 (3,120) 課対仕入10%内税	普通預金 カ-銀行	34,320	ホワイトリース リース料 適格
	リース料	36,575 (3,325) 課対仕入10%内税	普通預金 カ-銀行	36,575	イエローリース リース料 適格

仕訳日記帳

オステリア電子販売株式会社解答

日付 伝票No	借方勘定科目 借方補助科目	借方金額 借方税額 借方税区分	貸方勘定科目 貸方補助科目	貸方金額 貸方税額 貸方税区分	摘要
9/28 32	保険料	74,000	普通預金 ｶｰ銀行	74,000	損害保険料 ブラウン損害保険
9/30 33	普通預金 ｶｰ銀行	2,200,000	売掛金 あか工業(株)	2,200,000	掛代金回収 あか工業(株)
9/30 34	期首商品棚卸高	3,620,000	商品	3,620,000	期首棚卸商品
	商品	3,683,000	期末商品棚卸高	3,683,000	期末棚卸商品 実地棚卸高
9/30 35	減価償却費	1,308,192	減価償却累計額	1,308,192	当期減価償却費の計上
9/30 36	荷造運賃	418,000 (38,000 課対仕入10%内税)	未払費用	418,000	当期分 荷造運賃の見越計上 適格
9/30 37	前払費用	220,000	地代家賃 事務所	220,000 (20,000 課対仕入10%内税)	事務所家賃の繰延 適格
	前払費用	77,000	地代家賃 倉庫	77,000 (7,000 課対仕入10%内税)	倉庫家賃の繰延 適格
	前払費用	27,500	地代家賃 駐車場	27,500 (2,500 課対仕入10%内税)	駐車場代の繰延 適格
9/30 38	仮受消費税等	22,878,400	仮払消費税等	19,189,581	消費税の整理
			未払消費税等	3,688,700	未払消費税の計上
			雑収入	119	消費税の端数処理 消費税課税対象外
9/30 39	法人税等	809,800	仮払法人税等	420,000	法人税等の整理
			未払法人税等	389,800	未払法人税等の計上